

令和 6 年度 新規就農希望者農業技術研修実施要項

1 目的

本研修は、中央市内での就農を目指しながら、定住を希望する者で農業経験の少ない者に対して、(一財)中央市農業振興公社(以下「振興公社」と言う。)の圃場及び協力農業者の圃場を活用して、実践的な野菜栽培管理研修を行い、将来的に市内農産物直売所等への出荷者の確保・育成を目的とする。

2 研修対象者

中央市内での就農を希望する者

なお、集合研修の開催回数(30 回程度を予定)のうち、概ね 8 割以上出席が可能な者

3 研修場所

振興公社及び振興公社圃場並びに協力農業者の圃場

4 研修内容

露地野菜の栽培管理

なお、希望に応じて施設野菜の栽培管理についても可能な限りの範囲で研修に組み入れ。

5 定員

5 名

6 申し込み方法及び期限

- (1) 営農計画書等を付して申し込み用紙を振興公社に持参又は郵送する。
- (2) 提出物は、必要事項を記入した申込書、住所・氏名を記入し、返信用切手を添付し返信用封筒。
- (3) 運転免許証の写し

7 問い合わせ先

郵便番号 4 0 0 - 1 5 1 3

中央市大鳥居 3 6 8 8

(一財)中央市農業振興公社 電 話 055-269-2411

F a x 055-269-2412

8 経費

受講料は 1, 0 0 0 円、交通費・昼食費、宿泊費当は自己負担とする。

なお、研修開始時までに傷害保険に加入する。また、自己圃場に関する肥料代、農薬代等も自己負担とする。

9 持ち物

作業着、帽子、手袋等の作業が可能な服装と健康保険証、昼食等

10 研修期間、時間

集合研修は概ね 30 日間とし、天候や生育状況により変更があるため、その都度連絡する。研修時間は、午前 9 時から午後 4 時の間とする。

11 その他

野菜等の収穫物は、各研修生に支給する。

12 この研修は、4 月 1 日から実施する。

なお、研修計画は別添の通りとする。

記入

営農計画書・営農台帳

令和 年 月 日

住所
氏名

1 経営作物・経営方針	(1) 作物構成														
	(2) 経営方針の概要														
2 技術習得・経営開始内容	農業経験年数	年													
	農業研修期間、経営開始期日														
3 就農時の経営規模又は現状の経営規模	(1) 労働力	氏名	年齢	続柄	氏名	年齢	続柄								
	(2) 経営土地面積	区分	所有地			借入地			経営面積						
			自作地①	貸付地②	その他③	耕作中の土地④	その他⑤	①+④							
		田	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²							
		畑													
樹園地															
計															
採草放牧地															
4 就農時の経営形態又は現状の経営形態	(1) 作物構成	区分	面積(m ²)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	(2) 年間作物及び労働力配分	氏名	日数	氏名			日数								
	(3) 通作距離及び所要時間	距離	往	km						復	km				
経路		～													
所要時間		往復	時間						分						

5 就農時の基本装備又は現状の装備	(1) 建物	種類	農業用物置	農業用作業所	農機具置場	ビニールハウス		
		面積(m ²)						
	(2) 機械	種類	トラクター	耕耘機	田植機	トラック	防除機	
		台数						
	(3) 永年作物	種類						
面積(m ²)								
(4) 家畜	種類	肥育牛	豚	採卵鶏	ブロイラー	その他		
	頭(羽)数							
(5) 上記装備の購入見積額及び資金手当の方法								
6 就農時の経営試算又は現状の経営試算	(1) 農業粗収入	作物	作付面積	生産量	粗生産額			
			m ²	kg	円			
			m ²	kg	円			
			m ²	kg	円			
			m ²	kg	円			
			m ²	kg	円			
			m ²	kg	円			
			m ²	kg	円			
	(2) 農業経営費	万円	種苗費	円	農業費	円		
			農機具費	円	肥料費	円		
			光熱動力費	円	小作費	円		
		その他	円					
(3) 経営成果	万円							
7 就農時の資金の調達方法	自己資金	万円						
	借入資金	万円						
	借入先等							
8 収穫物の販売・取引先の方法								

記入例

営農計画書・営農台帳

令和 6 年 4 月 1 日

住所 山梨県中央市〇〇〇〇

氏名 中央太郎

印

1 経営作物・経営方針	(1) 作物構成	米及びネギ、ブロッコリー														
	(2) 経営方針の概要	路地野菜を中心に低農薬栽培で生産し、徐々に経営規模を拡大したい。														
2 技術習得・経営開始内容	農業経験年数	2 年														
	農業研修期間、経営開始	山梨県農業大学 (R1.4~R3.9) 農業生産法人〇〇〇 (R3.10~現在まで)														
3 就農時の経営規模又は現状の経営規模	(1) 労働力	氏名	年齢	続柄	氏名	年齢	続柄									
		中央太郎	40	本人	中央一郎	67	父									
		中央花子	36	妻												
	(2) 経営土地面積	区分	所有地			借入地			経営面積①+④							
			自作地①	貸付地②	その他③	耕作中の土地④	その他⑤									
		田	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²								
		畑				2,000		2,000								
樹園地					4,000		4,000									
計				6,000		6,000										
採草放牧地																
4 就農時の経営形態又は現状の経営形態	(1) 作物構成	区分	面積(m ²)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		米	2,000		種まき	植付け		防除				収穫				
		ネギ	3,000	種まき			植付け				防除			収穫		
		ブロッコリー	1,000				種まき	植付け			防除				収穫	
	(2) 年間作物及び労働力配分	氏名	日数	氏名			日数									
		中央太郎	150	中央一郎			100									
		中央花子	150													
	(3) 通作距離及び所要時間	距離	往 2 km			復 2 km										
経路		自宅			借入地											
所要時間		往復			時間 10 分											

5 就農時の基本 装備又は現状の 装備	(1) 建 物	種 類	農業用物置	農業用作業所	農機具置場	ビニールハウス			
		面積(m ²)							
	(2) 機 械	種 類	トラクター	耕耘機	田植機	トラック	防除機		
		台 数	1	1	1	1			
	(3) 永年作物	種 類							
		面積(m ²)							
(4) 家 畜	種 類	肥育牛	豚	採卵鶏	ブロイラー	その他			
	頭(羽)数								
(5) 上記装備の購入見積額及び資金手当の方法					農業用作業場は地主さんから借りる予定				
6 就農時の経営 試算又は現状の 経営試算	(1) 農業粗収入	作 物	作付面積	生 産 量	粗生産額				
		米	2,000 m ²	700 kg	150,000 円				
		ネギ	3,000 m ²	500 kg	3,150,000 円				
		ブロッコリー	1,000 m ²	800 kg	1,000,000 円				
			m ²	kg	円				
			m ²	kg	円				
			m ²	kg	円				
			m ²	kg	円				
	(2) 農業経営 費	30	万円	種苗費	100,000 円	農業費	円		
				農機具費	50,000 円	肥料費	80,000 円		
			光熱動力費	10,000 円	小作費	60,000 円			
			その他	円					
(3) 経営成果	400	万円							
7 就農時の資金 の調達方法	自己資金		万円						
	借入資金		万円						
	借入先等								
8 収穫物の販売・取引先の方法									